

みやまの風

令和8年1月9日(金)発行

園長 津田 将美



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

前向きさから生まれる考える力 ～終業式の話から～

12月24日の終業式に、日本の伝統的な文化にふれるというねらいで、自分が小学生の時に夢中になったコマ回しの話をしました。昨年度は凧作りの話をしたのですが、ねらいは同じです。

凧の話を復習すると…

小学校の冬休み、毎年挑戦していた凧作りが5年生でやっと成功し、手づくりの和凧が風に乗って空高く舞い上がったこと、凧糸を買い足しながら糸をどっどの伸ばし、凧が山の頂上に届きそうだったこと、その時途中の結び目が切れ凧は山の向こうに消えていったこと、それでも成功した満足感、喜びが残ったこと…。

子どもたちが、一生懸命聞いてくれたことを思い出しながら、今年度は第2弾、コマ回しのお話でした。



私が子どもの頃のコマ回しと言えば、材木屋さんで売っているコマでした。今のコマよりかなり大きく、直径15cmほどあったでしょうか。無垢の木に鉄の芯を入れ込んだ武骨なものでした。しかし、今売られているコマよりは重量があり、じょうずになるとダイナミックに回り、友だちとその腕を競い合ったものです。

ルールも今考えると、夢中になる要因のひとつでした。前の対戦で一番早く止まってしまった人から先に投げるきまりでした。当然、最後まで回っていた人は一番最後に投げます。それだけでもアドバンテージなのですが、もっと子どもたちを夢中にさせたのは、後から投げる人は、先に回っているコマにぶつけることができるのです。

相手のコマをふっとばした快感から、誰もが最後に投げる位置をねらって創意工夫、練習を自分なりに積み上げていったものです。

最後に実際にコマを回して子どもたちにお手本を見せようとしていました。こずみ先生に聞くと、自分はコマ回しは苦手だとのこと…。

「じゃ、前座になってね…。」

とお願いしました。ところが…。

結果は右の4コマの通りです…。

欲を出すと、こうなります。それは、私が子どものころのただひたすら工夫や試行錯誤することを楽しむ心を忘れたからでしょうか…。

やさしい子どもたちは、再チャレンジのチャンスくれたので、2度目は無事に成功しました。

寄幼稚園での活動は、正に私が子どものころしてきた創意工夫にあふれています。子どもたちは日々、自分たちの失敗を力に代えながら、試行錯誤を繰り返し成長しています。そんな姿をたくさん見ることができる幼稚園の日々に感謝しています。

3学期も前向きに考える力を育てていきます。



※松田では成功(まだ)。詳しくはQRより